

# 令和4年度 市長施政方針



令和4年度が始まりましたが、未だ新型コロナウイルス感染症の影響は色濃く、本市においても、改めて感染症対策への継続した取組の必要性を強く感じているところです。まだまだ予断を許さない状況が続きますが、国、県と連携しながら、市民のみなさまの大切な命や生活、そして地域経済を守るための施策に、機動的かつ柔軟に取り組みでまいります。

さて、今年度から「協創」の考え方をベースとし、3つの重点施策と3つの横断的施策を重点プロジェクトに掲げた、第二次山陽小野田市総合計画中期基本計画がスタートしています。中期基本計画は、令和4年度から令和7年度までを計画期間としており、本市のまちづくりの基本理念である「住みよい暮らしの創造」を踏まえ、将来都市像である「活力と笑顔あふれるまち スマイルシティ山陽小野田」の実現に向け、重点施策を「3つの創る」として整理しています。また、施策を展開していくに当たり、「デジタル化の推進」や「山口東京理科大学との連携」、「スマイルエイジングの推進」といった取組については、重点施策とは別に「3つの横断的施策」として位置付け、今後のまちづくりを力強く推進してまいります。

重点施策の1つ目「地域を創る」については、地域運営組織(RMO)の立ち上げや、地域交流センターの円滑な運営を進めるとともに、大規模な水害等から市民のみなさまの生命と財産を守ることができるよう、ソフトとハードの両面から防災対策に取り組んでまいります。

次に、重点施策の2つ目「ひとを創る」については、新規事業として、出産祝金給付事業及び入学祝金給付事業に取り組むほか、GIGAスクール構想の推進にも力を入れて取り組んでまいります。ハード面の整備としては、老朽化が進んだ日の出保育園の建替えに着手し、高千帆小学校の校舍整備についても、令和4年度末をもって完了するよう、着実に事業を進めてまいります。

重点施策の3つ目「まちの価値を創る」については、新たな移住定住施策であるスマイルシティ・ライフ体験事業の実施や、スマイル・ハロウィンパーティの開催、ガラスアートブランド「CLASS GLASS」のブランド展開による「ガラスアートのま

ち」としての価値創出など、今後における地域経済への波及効果にも期待しているところです。ハード面の整備としては、文化会館の大規模改修に向けた老朽化調査及び中長期整備計画の作成のほか、きらら交流館のリニューアルに向けた取組に着手し、より親しみやすく広い世代のニーズに合致した施設となるよう進めてまいります。また、ここ数年来取り組んできた、LABV手法を用いた商工センターの再整備については、事業をともに進めていくパートナーが決定したところであり、今後、事業が本格的に動き始めます。

これら重点施策に加え、横断的施策である「デジタル化の推進」については、ICT技術と健康分野の双方に知見を有する山口東京理科大学とも連携しながら、DX協創プラットフォームの構築を目指してまいります。また、「スマイルエイジング」の推進では、埴生地区の糸根公園及び青年の家を含む一帯を、スマイルエイジングパークとして整備するため、基本計画の作成に着手するなど、健康寿命の延伸に向け継続して取り組んでまいります。

終息時期の見えてこない新型コロナウイルス感染症への対応など、不透明な社会情勢が続いていますが、このような時代だからこそ、自分たちが「どうしたいか」を大事に1年を進めていくことが、市政を着実に推進させていくことに繋がると考えています。

そして、本市の「どうしたいか」を形にしたものが、第二次山陽小野田市総合計画中期基本計画です。ただし、せっかくの計画も、本市のまちづくりを共に担っていただくみなさまとビジョンを共有できなければ、その取組を効果的に進めていくことはできません。市民のみなさまを始めとする多様な方々と、ビジョンを共有していくための鍵となるもの、それは「共感」であろうと考えています。

令和4年度におきましては、本市に携わるみなさま方との共感を大切に、中期基本計画を力強く推進していきながら、職員一同「活力と笑顔あふれるまち スマイルシティ山陽小野田」の実現に努めてまいります。